

有形文化財(絵画・典籍)



しほんちやくしよくゆぎょうしょうにんえでん
紙本著色遊行上人絵伝

風呂本1組 永福寺

国指定重要文化財(絵画)

平成9年6月30日指定

所蔵する永福寺は、現在大分県内唯一の時宗寺院で宗祖一遍の開基伝承がある。「遊行上人縁起絵」と呼称されることの多い該絵伝は、全10巻からなる

もので前半4巻が一遍、後半6巻が二相他阿真教の伝である。永福寺蔵本は第7巻1巻のみであるが、巻頭の詞書3行を欠く以外は完備。縦31.5cm、横1497.6cm、南北朝時代の作。真教は一遍が豊後來訪の折に弟子となり、一遍が没するまで同行し一遍のあとを継いで時宗教団の基礎を築いた人物である。

永福寺にはこの絵伝巻末に記されていたという「浄光明寺什物令寄附訖 遊行半百^老」と書いた紙片が保管されている。鹿児島藩最大の時宗寺院で、明治2年(1869)の廃仏毀釈で廃寺になった寺に浄光明寺があるが、関連のあるものかもしれない。(小泊 立矢)